

都道府県番号	8
都道府県名	茨城県

【 】

*重点をおいた観点にチェックすること

学校名及び規模

学校名	常陸太田市立世矢中学校					
学 年	1 年	2 年	3 年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	3	3	1	9	19
生徒数	68	95	111	3	277	

研究の概要

(1) 研究主題

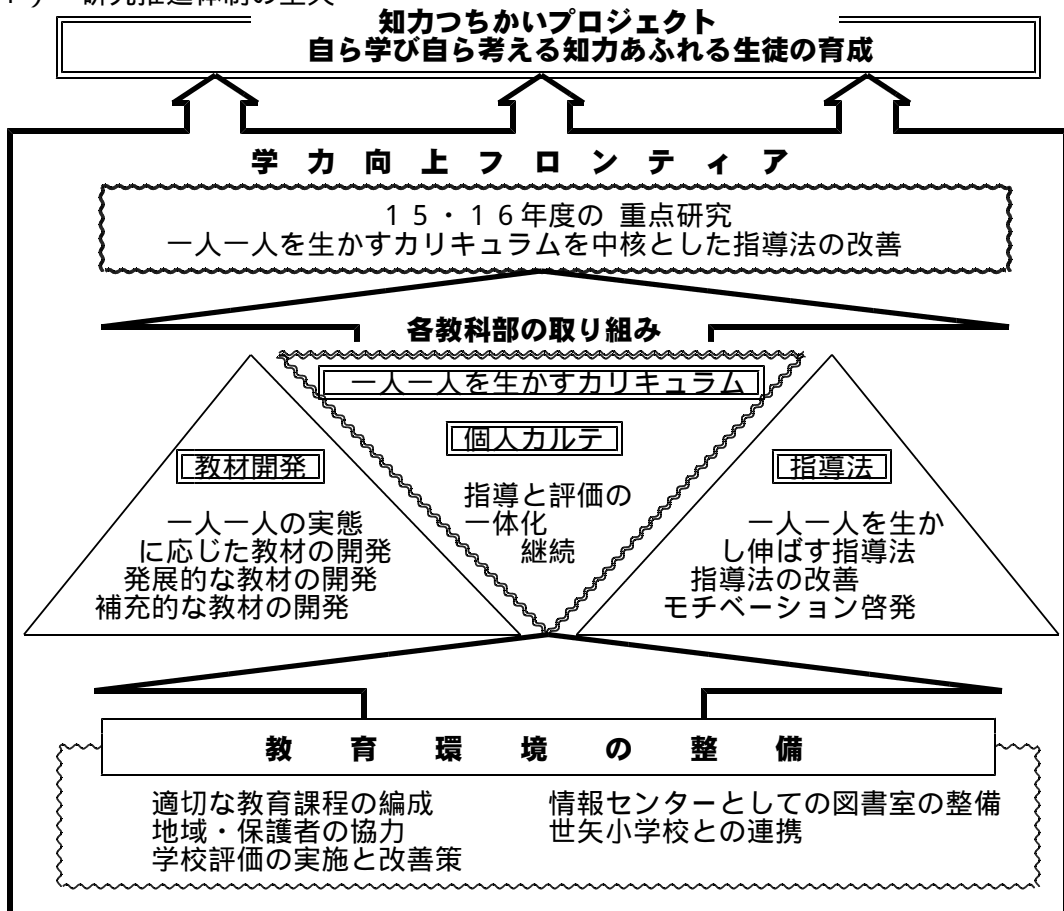
自ら学び自ら考える知力あふれる生徒の育成

(2) 研究主題設定の趣旨

本校の教育目標の「21世紀をになう心豊かで知力と気力あふれる人づくり」を推進するための3本柱のうちの「知力つちかいプロジェクト」のねらう「自ら学び自ら考える知力あふれる生徒」を育成するために研究する。

研究の概要

(1) 研究推進体制の工夫



(2) 研究の実際
指導体制の整備

- ア 2学年, 3学年の数学科, 理科での少人数指導の実践
- イ 発展をねらう選択教科の時間, 補充をねらう選択教科の時間の開設
- ・ 1学年では, 発展を技能系科目1科目30時間
 - ・ 2学年では, 発展を技能系科目1科目35時間, 5教科系科目1教科20時間, 補充を5教科系1科目を15時間
 - ・ 3学年では, 発展を技能系科目1科目40時間, 5教科系科目1教科40時間, 補充を5教科系2科目を30時間
- ウ 学習に関するアンケート調査結果の, 本校と国との比較.....後述参照
- エ P T Aによる支援委員会主催「有識者による講演会」.....10月25日(土)
- ・ 講師 ...富山大学教育学部助教授 黒羽 正見 先生
 - ・ 対象 ...世矢小中学校 P T A, 常陸太田市・金砂郷町内小中学校 P T A
 - ・ テーマ ...「みんなで子育て - 学校・家庭・地域で考える学力 - 」
 - ・ 広報活動...世矢小中学校の取り組みについての経過報告も行った。
- オ 世矢小学校との連携
- ・ 算数・数学科の連携として小中学校を通じた計算分野の到達度目標の設定
 - ・ 理科担当教師による交流指導
小学校5年生の理科「花粉の観察」の学習への中学校教師1名, 3年選択理科を受けている生徒数名による交流と支援
10月7日(火), 23日(木)実施
- 一人一人を生かすカリキュラム・個人カルテ(各教科部ごとに修正して作成)
科個人評価カルテ(原案) 年 組 番氏名

单元名	
-----	--

夢・願い	観点別評価		事前調査の記録	認められた変容
	関心意欲			

めあて(カリキュラム)	考え方			
	表現処理			
-----	知識理解			

日	気になる点	支援の視点・具体策	認められる変容

- ア 「一人一人を生かすカリキュラム」に関わるもの
- ・ 生徒の夢を実現すべく, 常に意識できるように欄を設けた。
 - ・ 生徒の向上意識の高揚を図るとともに, 教師が個別的な指導を心がける基になるものなので, 单元における個別の「めあて」の欄を設けた。
 - ・ 「事前調査の記録」は, 事前テスト, 前単元の実態等を記入し支援の具体策の参考とするため設けた。
 - ・ 「気になる点」の欄は, 生徒の戸惑い, つまずきを見つけ, 支援計画を作成するために設けた。
 - ・ 支援の視点・具体策が「一人一人を生かすカリキュラム」の中核となるので, 生徒ごとの効果的な支援策をいろいろ試して, 生徒にとってよいものを見つけることができるようにする。
- イ 個人評価カルテに関わるもの
- ・ 「観点別の評価」の欄を設け, 单元ごとの評価を行う。
 - ・ 「認められた変容」に記入できるよう積極的に支援を行うようにするとともに, 生徒の小さな変容を見逃さない教育のプロとしての目を持てるようにする。
 - ・ 経過観察を簡単に記入し, 最後の評価も記入する。

指導法の改善

- ア 学習支援ボランティアを活用した授業
保護者，大学生，留学生，市議員等を活用した授業に取り組んだ。
 - イ 指導法の改善例
ノート指導，一人学び，フリートーク，リレートーク，学習素材の収集と教材化，分かる教材の作成，コースの自己決定までの道筋づくり，導入の工夫，学習ポイントの明示，観察・実験の充実，イメージ化，話し合いによる練り上げ，まとめの重視，チェックテスト，コミュニケーション活動の重視等に取り組んだ。
- 教材開発.....常陸太田市学力向上推進委員会との連携
- ア 発展・補充問題の継続作成に取り組んだ。
 - イ 評価結果への対応例として，評価Cの生徒に対する具体的な指導の手立てや働きかけ，評価Aの生徒に対する働きかけ，留意点等をまとめた。（世矢中の分担分）

(3) 研究の成果と課題

指導法の改善（学習に関するアンケート調査結果の本校と国との比較）

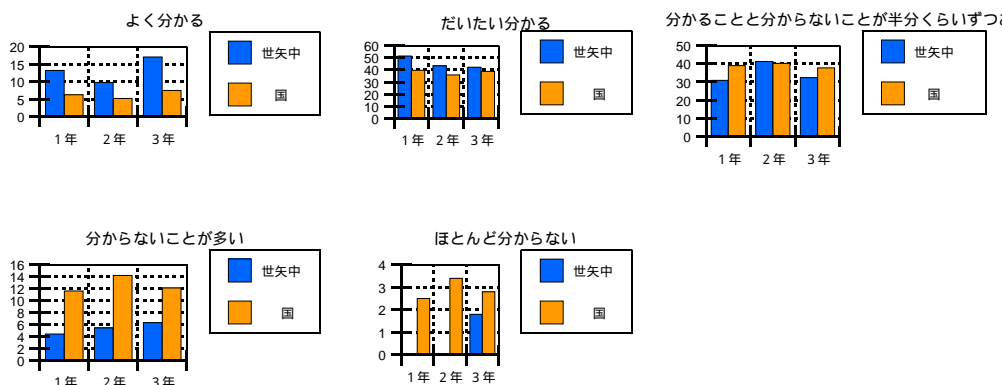
設問1の小設問18（肯定的回答を求めるもの）のうち，世矢中のデータが国のデータを，上まわったのは，設問18中16（2つは，僅かに下回った）であった。

特に上回ったもの	「勉強が好きだ」 (+12.2%) 「勉強は大切だ」 (+9.5%) 「勉強すれば，自分の力で答えを見つけられるようになる」 (+9.7%)
僅かに下回ったもの	「勉強をすれば，お父さんとお母さんがほめてくれる」 (-0.6%) 「勉強すれば，先生がほめてくれる」 (-2.6%)

継続的な取組により，生徒の学習意欲の向上が認められる。また，学習の大切さを認識し，学習の効果を信じている生徒が多い。

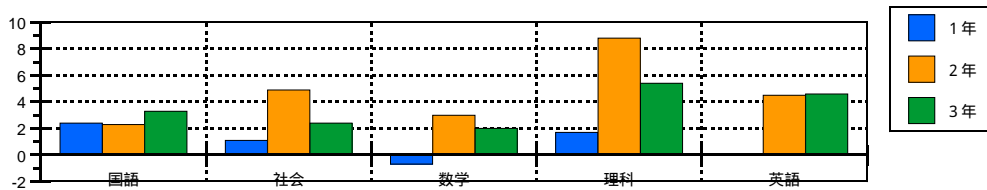
勉強の様子の具体的な内容を問う設問2の小設問10のうち，本校の指導法の改善の評価の一つの目安となる問いがあったので，特にグラフで示す。

「学校の授業はどの程度分かりますか」



指導法の改善により，生徒にとって「わかる授業」が多くなっている。

平成15年度茨城県「学力診断のためのテスト」の平均正答率と世矢中の比較



1年生の数字が下回っているものの、他は上回る結果が得られた。特に、理科の成績がよいのは、少人数指導の成果と言える。他の教科についても、さらに伸ばしていきたい。

一人一人を生かすカリキュラム・個人カルテ
 煩雑にならぬこと、継続できることを目標に取り組んできた。改善の余地は残されてはいると思うが、参考になることは間違いないと感じている。
 「今日はここまで伸びたから、次はこの支援でさらに伸ばそう。」「この支援ではなく、もっと分かりやすい支援を用意しなければならない。」など教師の計画的な支援が可能となった。また、生徒の伸びやつまずきを見つめることで、「授業の創意工夫」への意欲が増した。

教材開発
 少人数指導を中心にして取り組んだ数学科では、コース内の多様な生徒の実態と願いに対応するために、プリント教材を数多く用意した。確かな手応えを感じている。

- (4) 研究成果の普及の方策
 P T Aによる支援委員会主催「有識者による講演会」……10月25日(土)
 ア 講師 富山大学教育学部助教授 黒羽 正見 先生
 イ 場所 常陸太田市立世矢中学校
 ウ テーマ 「みんなで子育て - 学校・家庭・地域で考える学力 - 」
 エ 対象 世矢小中学校 P T A, 常陸太田市・金砂郷町内小中学校 P T A
 オ 広報活動 世矢小中学校の取り組みについての経過報告も行った。
 「先生、生徒、学校が変わるなら、親も変わらなければならない。」という意見が出された。

- 研究会の実施
 ア 日時 平成15年11月12日(木) 13時30分~
 イ 場所 常陸太田市立世矢中学校
 ウ テーマ 自ら学び自ら考える知力あふれる生徒の育成
 エ 対象 茨城県県北地区学力向上推進協議会員 本校 P T A 役員
 茨城県県北教育事務所管内の各中学校の教職員

- 常陸太田教育研究所(教職員の自主研修任意団体)での啓発活動
 ア フロンティアT...「研究協議(8月11日,参加者約100名)」
 イ 理科部教師……「研究協議(12月6日,参加者約80名)」
 常陸太田地区では、同様の実践を行う学校が増えてきている。

- (5) その他(その他特色ある取組等がある場合に記述)
 常陸太田市としての教材開発
 常陸太田市学力向上推進委員会と連携して、以下に取り組んだ。
 ア 発展・補充問題の継続作成。
 イ 評価結果への対応例として、評価Cの生徒に対する具体的な指導の手立てや働きかけ、評価Aの生徒に対する働きかけ、留意点等をまとめた。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校

【学校規模】 3学級以下 4～6学級
 7～9学級 10～12学級
 13～15学級 16学級以上

【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 その他

【研究教科】 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無

【特色ある取組事例としての紹介したいポイント】

- 1 「一人一人のカリキュラム・個人カルテ」
知力つちかいプロジェクトで提案された原本を基に、国語、社会、数学、理科、外国語の各教科部で、教科の特性を考慮したものを作成し、継続研究中である。
- 2 指導法の工夫改善
少人数指導以外に各教科で、指導の重点をそれぞれ策定し、効果的な指導法の研究を行ってきた結果、国のアンケート調査の数値より、良好な結果が得られた。特に、授業が「分かる」生徒が多く、「ほとんど分からない」生徒が少ない(1年生、2年生は0%)。また、勉強への意欲があり、勉強の意義を知っており、勉強の効果を信じている生徒が多いことは、本事業の趣旨に添うものである。
- 3 教材開発
フロンティアティーチャーとの連携により、常陸太田市学力向上推進委員会で発展・補充問題を作成し、評価結果への対応例としての評価Cの生徒に対する具体的な指導の手立てや働きかけ、評価Aの生徒に対する働きかけ、留意点等をまとめた。